

新型コロナウイルスワクチン 注 意 事 項

新型コロナウイルスワクチンについて

- 接種するワクチンは「ファイザー社製」のワクチンです。
- 本ワクチンは2回接種を受ける必要があります。(費用は無料です)
- 1回目の接種後、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。
- 1回目にファイザーワクチンを接種した場合、2回目も必ずファイザーワクチンを接種してください。

基礎疾患のある方へ

- 原則、その病気を診てもらっているかかりつけの医療機関等で接種してください。
- かかりつけの医療機関等以外で接種をする場合は、まずはかかりつけの医療機関等を受診し、新型コロナウイルスワクチンの予防接種をして良いか、必ず確認してから接種するようにしてください。

ワクチン接種を受けることができない方

以下にあてはまる方はワクチンを接種できません。該当すると思われる場合は必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している方（体温が37.5℃以上の方）
※体温が37.5℃を下回る場合でも平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合もあります。
- 重い急性疾患にかかっている方
- ワクチンの成分に対し重度の過敏症（呼吸困難や血圧低下等）の既往歴のある方
- 上記以外で予防接種を受けることが不適当な状態の方

接種を受けるに当たり注意が必要な方

以下にあてはまる方は本ワクチンの接種について注意が必要です。該当すると思われる場合は必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害のある方
- 過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ワクチンの成分に対してアレルギーが起こるおそれのある方

問合せ 健康いきいき課 ☎59-6911

ワクチン接種Q&A

- Q ワクチン接種の1回目と2回目の間隔が、3週間以上空いてしまった場合は、どのようにすればよいですか？
A できる限り速やかに2回目の接種を受けてください。
- Q 妊婦（妊娠している可能性がある）がワクチンの接種を受けても問題ないですか？
A 医師と相談し、予防接種の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ接種を受けてください。
- Q 過去に他のワクチンや医薬品、食品、化粧品に対してアレルギー反応があったのですが、本ワクチンを接種しても問題ないですか？
A 予診票にアレルギーの情報をできる限り記載のうえ、事前にかかりつけ医に相談するか、もしくは接種当日に医師に相談してください。
- Q ワクチンの効果はどのくらいありますか？
A 21日間隔（3週間）で2回接種し、2回目の接種を受けてから7日経過以降に免疫ができます。しかし、現時点では感染予防効果は明らかになっていません。ワクチン接種に関わらず、適切な感染防止対策を行う必要があります。
- Q ワクチンの副反応の心配はありますか？
A ワクチン接種によって副反応が起こることがあります。気になる症状やいつもと違う体調の変化が認められた場合には、速やかに医師などにご連絡ください。万が一、ワクチンの接種によって健康被害が生じた場合には、国による健康被害救済制度があります。副反応に関するご相談は埼玉県のコールセンター（下記参照）へお問い合わせください。

コールセンターのご案内



嵐山町コールセンター

4月19日(月) 開設予定

電話番号は接種券に同封する通知文や広報嵐山5月号等でお知らせします。

※9時～17時（土日・祝日除く）

接種できる医療機関や接種券・予約に関する問合せに対応します。

埼玉県コールセンター

☎0570-033-226

※24時間通話可
(土日・祝日含む)

医学的知見が必要となる専門的な相談等、市町村が対応困難な問合せに対応します。